

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2022. 6
No.346

イナテックが学生・デザイナーと共に 身近に溢れる社会問題に挑む

参考 稲波 伸行氏書

愉しくなるものづくりでワクワクを創ることをミッションとしているイナテックが、県内の学生・デザイナーと協力して、様々な身近な日常生活に溢れる少数派の人たちの問題を解決する『イナテック ソーシャル デザイン プロジェクト(以下、ISDP)』を2022年5月14日から開始致しました。

この活動を通じて、学生のアイデアから新たなプロジェクトを創出できればと考えております。

ものづくりに対して渦巻く危機感

イナテックは、これまで自動車エンジン部品のA/Tの製造を中心に行ってきました。

しかし今、自動車業界はコロナ禍や急速なEV化による100年に一度の大変革期が起きており、イナテックでは従来とは違った新しく多様な価値を生み出す必要があります。一方で、ものづくりの技術も守っていかねければならないということもあり、同時にいくつもの危機感が渦巻いています。

愉しくなるものづくりでワクワク

(湧く湧く)を創る

このような大変革期に対応し、ものづくりの未来を守っていききたいという想いから、イナテックでは2021年に「愉しくなるものづくりでワクワク(湧く湧く)を創る」というミッションを新たに掲げました。

「湧く湧く」とは、新しい発想が沸々と湧いて出てくる様子を表しています。新しく多様な価値を提供するものづくりの未来を守る、その取り組みの1つとして、この度「ISDP」を立ち上げました。

今回のテーマは「マイノリティ」

マイノリティとは、「とりわけ社会的に少数派と位置付けられる人々」のことで、「日常生活を送る上での不平等などが生じやすい」とされています。(実用日本語表現辞典より引用)

今回のテーマは、そんな「マイノリティな問題をどう解決するか?」です。現在、問題が見えていながら中々解決に至っていないものは、山のようにあります。このような「日常生活に溢れる、通常の企業活動の中では解決しにくい問題」、これらはこの機会を通じて、ものづくりの力で解決できないか、と考えています。

学生+デザイナー+社員

今回の企画では、学生、デザイナー、イナテック社員の3つのカテゴリの人々が集まります。柔軟な発想力を持つ学生、プロジェクトマネージャーとしてのデザイナー、ものづくりのプロであるイナテック社員、それぞれの力を合わせて新しい価値を創造していきたいと思っております。

この企画（ISDP）の中で、学生は企業の方を使った様々なことにチャレンジできる。また、イナテック社員は今までにない新しい学びに触れることができる、貴重な機会になるのではないかと思っています。今年を初回とし、毎年開催をしていく予定です。

Q&A集

Q イナテックが、なぜ、こんなことを行うのか？

A 自動車産業界の大変革期に際して、

① 従来とは違った新しく多様な価値を創出する。

(SDGs:カーボンニュートラル、サステナブル etc)

② ものづくりの未来を守る。

③ このISDPを通し、改革して、地域のリーディングカンパニーを目指す。

Q この活動での成果は、何を期待するか？

A ①有形物の成果については、今後の活動の進捗次第では、「マイノリティに関する課題・問題解決の具体案」を形とすることができれば、一般の展示会等での紹介も考えています。

② また、有形物以外では、学生や、このプロジェクトに関わるイナテックの社員の両者にとって、新しい気づきや成長を得ること、今後の各個人および自社（イナテック）の活力となることを期待しています。

イナテックグループのすばらしい未来を創造するために、今後より多くの社員の方々に参画していただくことを期待します。

宜しくお願いいたします。

菜根譚後集

七七

伏久者、飛必高、開先者、謝獨早。知此、可以免踴躍之憂、可以消躁急之念。

鳥の中でも、長く伏せていて力を養っていたものは、いったん飛び上がると、必ず外の鳥よりも高く飛び、また、花の中でも、早く花を開いたものは、必ず外の花よりも早く散る。この道理をわきまえておれば、途中であし場を失ってよろめく心配を免れることもでき、また、成功をあせる気持を消すこともできる。

